

令和元年度大垣市地域公共交通会議第1回会議次第

と き 令和元年7月8日（月）15:00～16:30

ところ 岐阜協立大学 2号館3階 第8会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 委員の紹介

4 報 告 等

(1) 大垣市の公共交通の現状等について P. 1 資料No. 1

(2) 養老線交通圏地域公共交通網形成計画の概要について 別添資料

(3) 大垣市立地適正化計画の概要について 別添資料

5 議 題

(1) 大垣市地域公共交通網形成計画の策定について P. 13 資料No. 2

(2) アンケート調査の実施について P. 15 資料No. 3、別添資料

6 そ の 他

新幹線・在来線の運行情報の充実について 別添資料

7 閉 会

令和元年度大垣市地域公共交通会議第1回会議出席者名簿

と き 令和元年7月8日（月）15:00～16:30

ところ 岐阜協立大学 2号館3階 第8会議室

No.	区分	団体名・役職等	氏名	備考
1	会 長	大垣市長	小 川 敏	
2	学 識 経 験 者	岐阜協立大学学長	竹 内 治 彦	
3	道 路 管 理 者	国土交通省大垣維持出張所長	蒲 雅 志	
4		岐阜県大垣土木事務所施設管理課長	金 森 隆 史	
5	警 察 署	大垣警察署交通第一課長	長谷川 誠	
6		養老警察署交通課長	大 熊 秀 則	
7		垂井警察署交通課長	船 越 修 爾	
8	交 通 事 業 者 (バ ス)	(公社) 岐阜県バス協会専務理事 (事務局長)	林 直 樹 (上嶋英樹)	代理
9		名阪近鉄バス(株)取締役社長 (取締役)	松 田 健 (二宮秀暢)	代理
10	交 通 事 業 者 (鉄 道)	東海旅客鉄道(株)東海鉄道事業本部管理 部総務課課長代理	豊 田 智 隆	
11		樽見鉄道(株)代表取締役社長	不 破 道 夫	
12		養老鉄道(株)代表取締役常務鉄道営業部長 (鉄道営業部 次長)	植 松 知 也 (山川雄一)	代理
13	交 通 事 業 者	スイトトラベル(株)タクシー事業部長	石 田 吉 忠	
14	(タ ク シ ー)	岐阜近鉄タクシー(株)取締役社長	川 内 康 平	
15		大垣タクシー(株)代表取締役	大 角 勇 雄	
16		中部交通(株)代表取締役	藤 墳 寛 富	
17	地域公共交通	大垣市連合自治会連絡協議会副会長	後 藤 文 夫	
18	の 利 用 者	かがやきクラブ大垣会長	西 田 勝 嘉	
19		大垣市女性連合会会長	竹 中 昌 子	
20		大垣桜高等学校校長	猿 井 久美子	
21		大垣商工会議所会頭 (専務理事)	堤 俊 彦 (成瀬重雄)	代理

No.	区分	団体名・役職等	氏名	備考
22	その他会長 が必要と 認めるもの	大垣観光協会会長	田 中 良 幸	
23		大垣市交通安全女性連絡協議会会長	後 藤 容 子	
24		大垣市社会福祉協議会地域福祉課長	山 田 孝	
25		中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官 (首席運輸企画専門官)	鈴 木 隆 史 (伊藤一智)	代理
26		岐阜県都市建築部都市公園整備局公共交通課長兼リニア推進室長	幸 畑 哲 也	欠席
27	(自主運行 バス関係)	養老町長 (産業建設部建設課主査)	大 橋 孝 (香川明美)	代理
28		関ヶ原町長	西 脇 康 世	欠席
29	オブザーバー (地域間幹線 系統関係)	羽島市市民部生活交通安全課公共交通係長	木 山 鉄 兵	
30		瑞穂市企画部総合政策課主査	武 藤 崇 晃	
31		海津市市民活動推進課係長	小野澤 孝 則	
32		神戸町まちづくり戦略課課長	石 原 宏 一	
33		輪之内町住民課課長補佐	西 脇 元 彦	
34		安八町住民環境課課長補佐	久保田 一 也	
35		大野町総務部政策財政課課長	内 藤 睦 文	

令和元年度 大垣市地域公共交通会議 第1回会議席次表

と き 令和元年7月8日（月）15:00～16:30

ところ 岐阜協立大学 2号館3階 第8会議室

事務局、コンサルタント（机4本）

伊藤一智	中部運輸局岐阜運輸支局 首席運輸企画専門官	竹内治彦	学長 岐阜協立大学	小川敏	大垣市長		田中良幸	会長 大垣観光協会
国土交通省 大垣維持出張所長 蒲雅志								(公社) 岐阜県バス協会 事務局長 上嶋英樹
岐阜県大垣土木事務所 施設管理課長 金森隆史								名阪近鉄バス(株) 取締役 二宮秀暢
大垣警察署 交通第一課長 長谷川誠								東海旅客鉄道(株) 管理部総務課課長代理 豊田智隆
養老警察署 交通課長 大熊秀則								樽見鉄道(株) 代表取締役社長 不破道夫
垂井警察署 交通課長 船越修爾								養老鉄道(株) 鉄道営業部次長 山川雄一
大垣市連合自治会連絡協議会 副会長 後藤文夫								スイトトラベル(株) タクシー事業部長 石田吉忠
かがやきクラブ大垣 会長 西田勝嘉								岐阜近鉄タクシー(株) 取締役社長 川内康平
大垣市女性連合会 会長 竹中昌子								大垣タクシー(株) 代表取締役 大角勇雄
猿井久美子	校長 大垣桜高等学校	成瀬重雄	専務理事	大垣商工会議所	後藤容子	女性連絡協議会会長	大垣市交通安全	山田孝
								地域福祉課長
								大垣市社会福祉協議会
								香川明美
								建設課主査
								養老町
								藤墳寛富
								代表取締役
								中部交通(株)

オブザーバー席（机・イス）（机4本、8席）

記者席、傍聴者席、随行者席（机・イス）（机4本、12席）

傍聴者席、随行者席（イスのみ、12席程度）

出入口

大垣市の地域公共交通の現状等について

1 大垣市の地域概況等

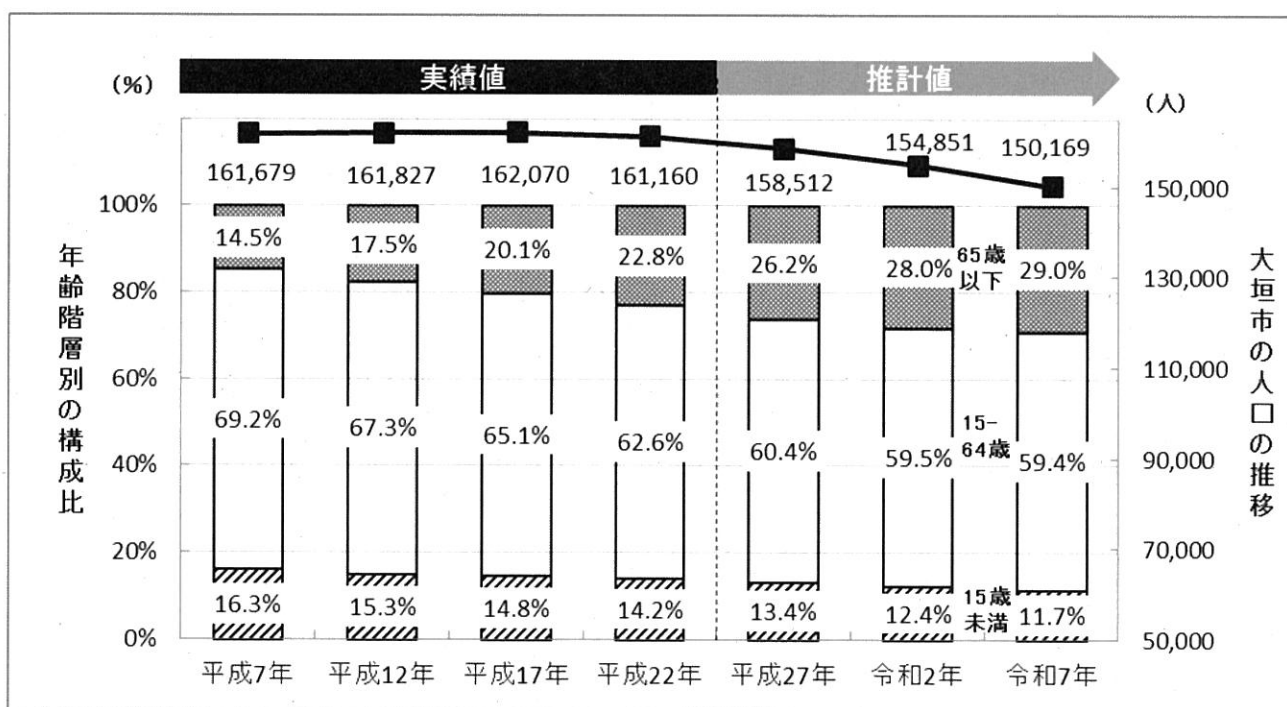
人口は、平成17年をピークに減少に転じています。

また、年齢階層別人口で見ると、高齢者人口（65歳以上）は増加傾向が続いており、年少人口（15歳未満）及び生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向が続いています。

<大垣市の人口の推移と将来見通し>

	国勢調査の実績値（10月1日現在）					構成比
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	
合計	161,679	161,827	162,070	161,160	159,879	
内 65歳以上	23,475	28,252	32,512	36,669	41,486	26.1%
15～64歳	111,887	108,852	105,517	100,910	95,945	60.3%
15歳未満	26,315	24,704	23,921	22,844	21,667	13.6%
年齢不詳	2	19	120	737	781	—

（資料：国勢調査）



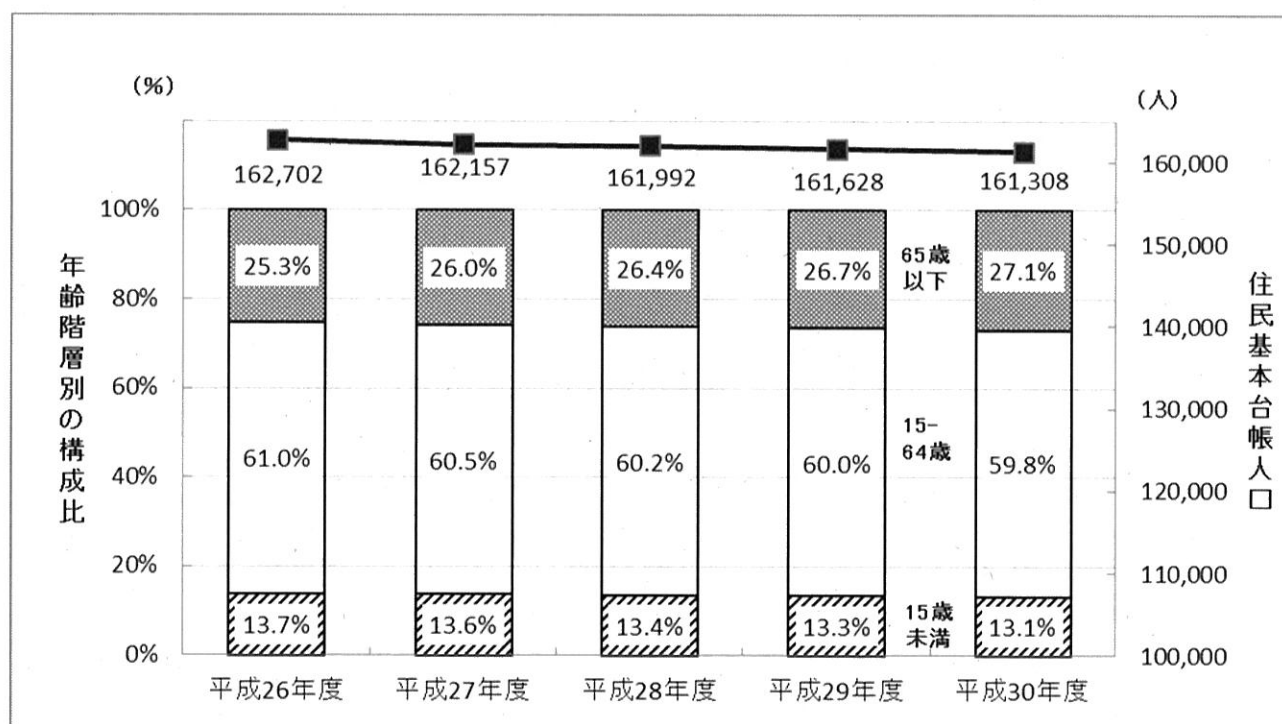
（資料：国勢調査、人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』）

＜大垣市の人口（住民基本台帳人口）＞

人口減少が進展し、地域公共交通における通勤・通学利用の維持・確保が非常に厳しい状況が続く中で、高齢者や外国人は人数、割合ともに増加傾向にあります。

（単位：人）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (26年度比)
合 計 (年度末)	162,702	162,157	161,992	161,628	161,308 (△ 0.9%)
内 65歳以上	41,179	42,119	42,774	43,196	43,678
15～64歳	99,253	98,064	97,452	97,004	96,475
15歳未満	22,270	21,974	21,766	21,428	21,155
内 外 国 人	4,165	4,300	4,516	4,706	5,234 (+25.7%)
※構成比	※2.6%	※2.7%	※2.8%	※2.9%	※3.2%



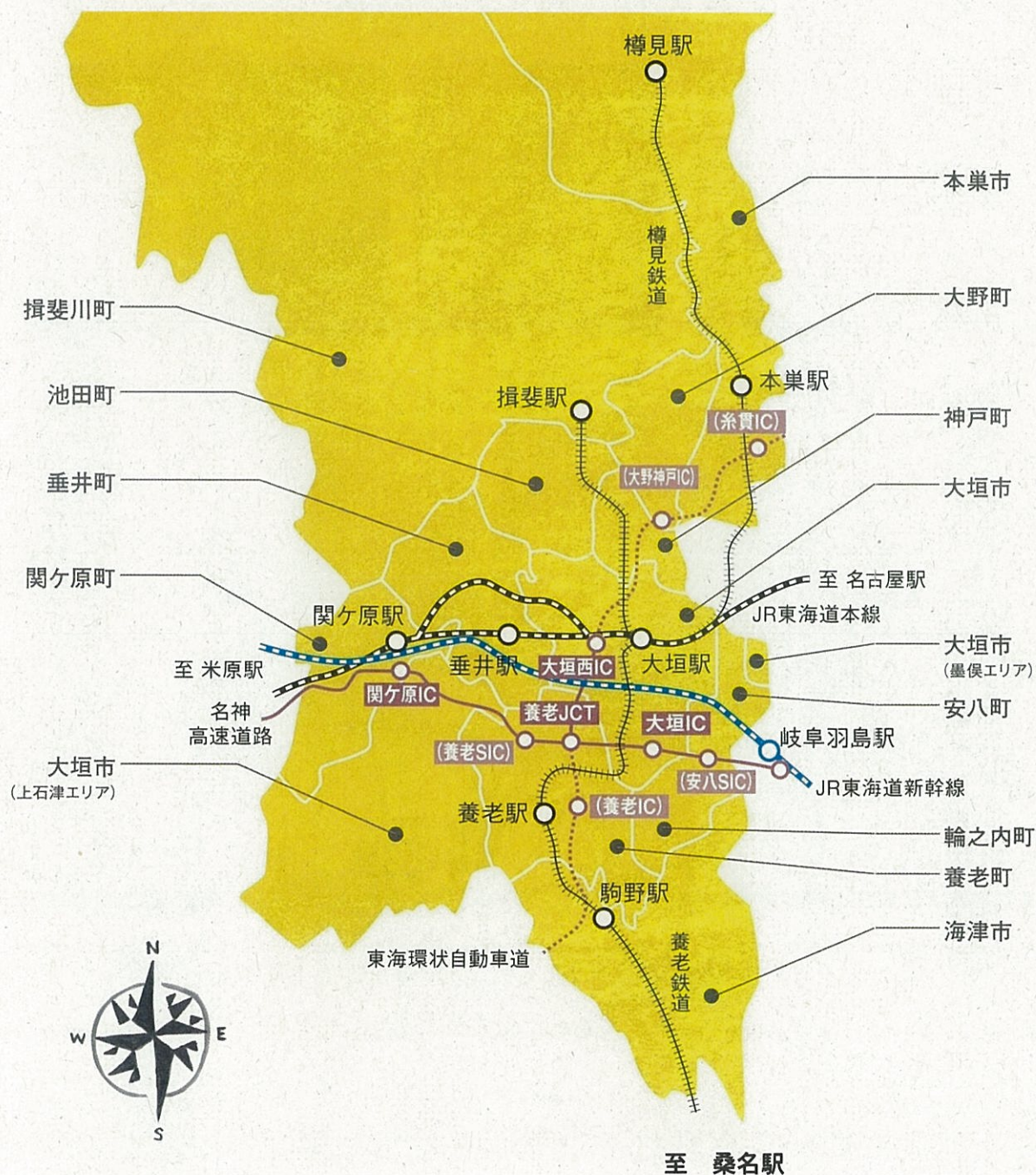
（資料：大垣市（住民基本台帳人口、外国人を含む））

2 大垣市及び周辺地域の主な鉄道路線網等

本市は、古くから東西交通の要衝として発展しており、道路交通網、鉄道路線網等が整備され、各方面からのアクセスが便利な地域となっています。

鉄道は、JR東海道本線が東西に走り、大垣駅からは、JR美濃赤坂線、養老線が揖斐方面及び桑名方面へ、樽見線が本巣方面へと延びています。

道路は、東西に国道21号、南北に国道258号があるとともに、高速道路関係では、名神高速道路の大垣IC、東海環状自動車道の大垣西ICがあります。



3 地域鉄道の概要

(1) 養老線

① 区 間	桑名駅 ～ 揖斐駅		大垣市 7駅、12.71km			
② 営業キロ	57.5km (単線)		海津市 5駅、15.43km			
③ 駅 数	27駅 (無人駅：19駅、有人駅：8駅)		養老町 3駅、9.02km			
④ 車 両 数	31両 (2両編成×5本、3両編成×7本)		神戸町 3駅、5.24km			
⑤ 運転速度	最高速度65km/h、平均速度43.7km/h		揖斐川町 1駅、0.80km			
⑥ 運転方法	ワンマン運転 (平成6年9月15日から)		池田町 3駅、4.05km 桑名市 5駅、10.25km			
⑦ 列車運転間隔	時間帯	桑名～大垣 (43.0km)		大垣～揖斐 (14.5km)		
	朝ラッシュ時	30分		20分		
	昼 間 時	40分		40～50分		
	夕ラッシュ時	40分		20分		
	夜 間 時	40分		20～60分		
⑧ 輸送人員 (単位：千人)	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	定 期 外	1,280	1,296	1,327	1,368	1,388
	通学定期	2,928	2,977	3,145	3,143	3,140
	通勤定期	1,707	1,736	1,726	1,697	1,703
	合 計	5,915	6,009	6,198	6,208	6,231
⑨ 鉄道の運行	養老鉄道(株) ※第二種鉄道事業者					
⑩ 大垣市内の駅	有人駅：大垣駅、西大垣駅 無人駅：北大垣駅、室駅、美濃青柳駅、友江駅、大外羽駅					

<養老線の事業形態変更の推移>

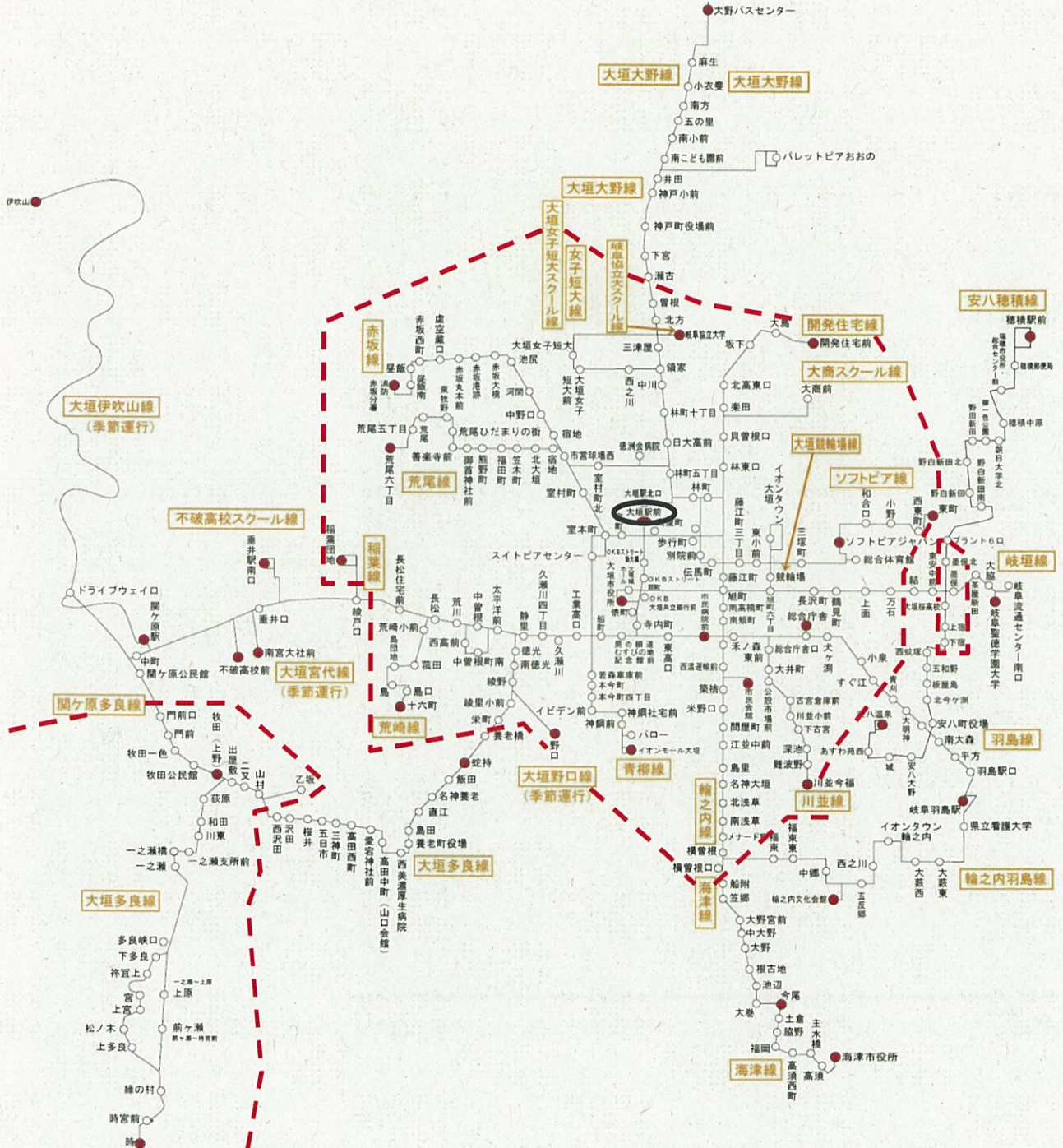
期間	第一種鉄道事業者	第二種鉄道事業者 (鉄道の運行)	第三種鉄道事業者 (施設の維持管理)
～平成19年9月30日	近畿日本鉄道(株)	—	—
平成19年10月1月～ 平成29年12月31日	—	養老鉄道(株)	近畿日本鉄道(株)
平成30年 1月1日～	—	養老鉄道(株)	(一社) 養老線管理機構

(2) 樽見線

① 区 間	大垣駅 ～ 樽見駅		大垣市 2駅、 3.7km			
② 営業キロ	34.5km (単線)		安八町 0駅、 0.3km			
③ 駅 数	19駅 無人駅：16駅 有人駅： 3駅		瑞穂市 3駅、 4.6km			
④ 車 両 数	レールバス 6両、ラッセル車 1両		北方町 0駅、 0.0km			
⑤ 運転速度	最高速度65km/h、平均速度38.5km/h		本巣市 12駅、22.9km			
⑥ 運転方法	ワンマン運転		揖斐川町 2駅、 3.0km			
⑦ 列車運転間隔	時間帯	大垣 ～ 本巣			本巣 ～ 樽見	
	朝ラッシュ時	概ね30分			概ね75分	
	昼間時	概ね90分			概ね90分	
	夕ラッシュ時	概ね45分			概ね90分	
	夜間時	概ね90分			概ね90分	
⑧ 輸送人員 (単位：千人)	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	定期外	279	287	286	282	280
	通学定期	287	290	294	267	269
	通勤定期	81	89	98	97	91
	合 計	647	666	678	646	640
⑨ 鉄道の運行	樽見鉄道(株) ※第一種鉄道事業者					
⑩ 大垣市内の駅	有人駅：大垣駅 無人駅：東大垣駅					

4 大垣市及び周辺地域のバス路線網（大垣市コミュニティバスは除く）

大垣駅を中心として、幹線道路を通る路線が、市内の各地域及び周辺市町へと放射状に延びており、主に通勤・通学での利用が多くなっています。

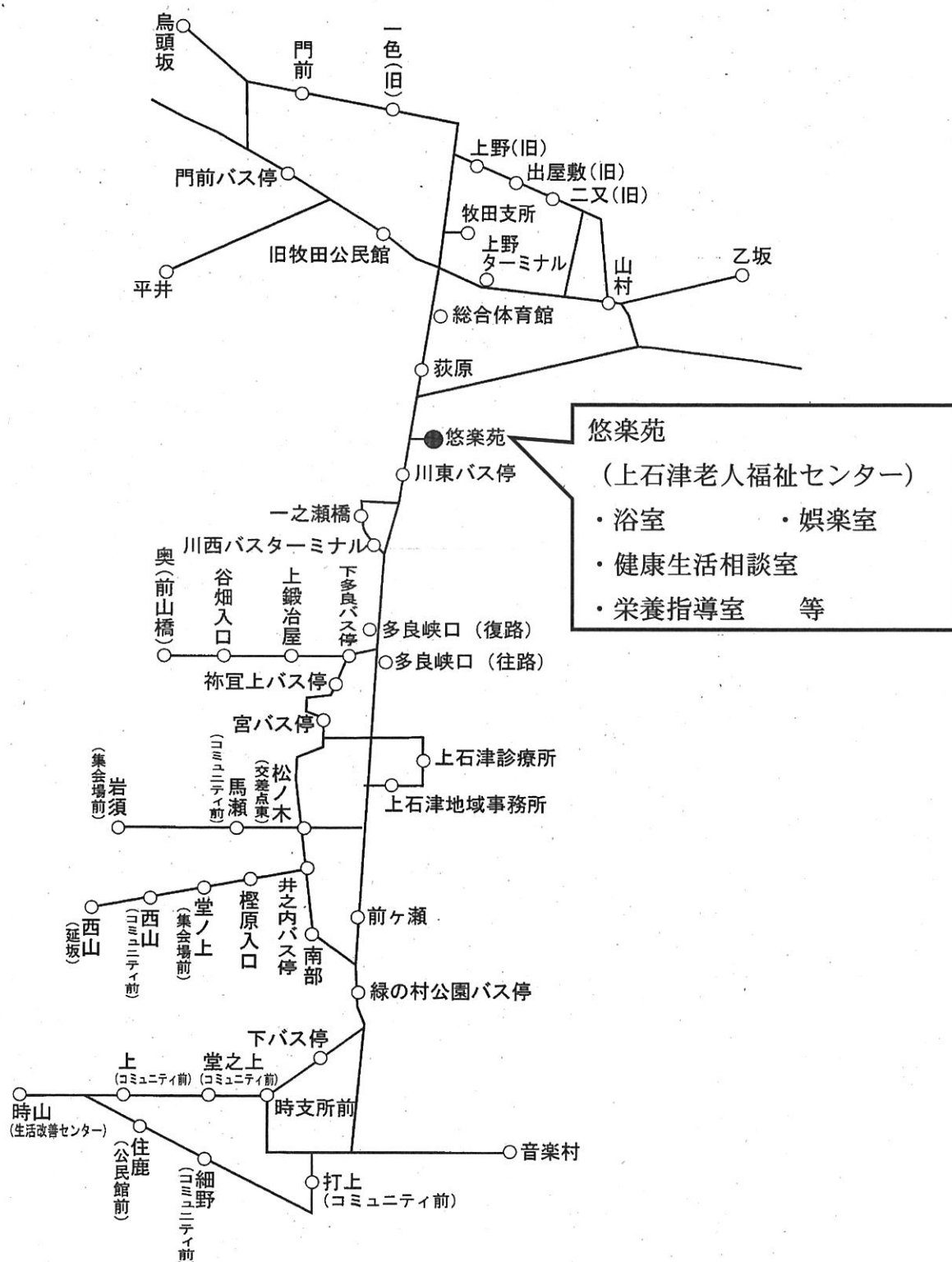


5 大垣市コミュニティバス路線図（上石津地域）

上石津地域内のみを運行しており、主に「悠楽苑」利用者の移動を目的としたダイヤ及びコースとなっています。

※運行：平日のみ 牧田コース2便/日、時コース3便/日、多良コース2便/日

※運賃：1乗車 100円



6 バス交通の利用者数

近年は、横ばい又は微増となっていますが、人口減少等が進展する中、バス交通の利用者の維持・確保は、厳しい状況が続いており、多くの路線は関係市町の負担により維持されています。

(単位：人)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業者路線 (3路線) ・ソフトピア線 ・女子短大線 ・大垣大野線 (市役所－協立大) ※スクール線、季節路線は除く	217,331	226,468	244,147	231,035	242,038
地域間幹線系統 (6路線) ・羽島線 ・岐垣線 ・海津線 ・輪之内線 ・大垣大野線 (総合庁舎－大野) ・安八穂積線 (H30.4.1運行開始)	732,053	809,911	846,876	866,105	867,551
大垣市自主運行バス (11路線) ・青柳線 ・荒尾線 ・赤坂線 ・川並線 ・稲葉線 ・荒崎線 ・開発住宅線 ・大垣多良線 ・関ヶ原多良線 ・上石津スクール線 ・コミュニティバス (上石津地域)	650,345 内 コミュニティバス 6,335	668,191 内 コミュニティバス 6,620	652,734 内 コミュニティバス 7,640	663,467 内 コミュニティバス 7,218	676,382 内 コミュニティバス 6,520
合計 (20路線)	1,599,729	1,704,570	1,743,757	1,760,607	1,785,971

(資料：名阪近鉄バス、大垣市)

7 公共交通の維持に関する大垣市負担額

交通事業者の運転手不足による人件費の増大や燃料費の上昇等により、運行に係る経費が増加傾向にあるため、大垣市負担額についても増加傾向が続いています。

(単位：万円)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
(1) 樽見線関係	1,046	1,047	1,047	1,052
(2) 養老線関係	5,595	6,351	5,939	7,987
(3) バス交通関係	14,968	15,110	14,908	14,649
① 地域間幹線系統関係	2,506	2,864	2,572	2,394
② 自主運行バス関係	12,462	12,246	12,336	12,255
合 計	21,609	22,508	21,894	23,688

(資料：大垣市)

8 大垣市親子バス利用支援事業の概要（担当：子育て支援課）

(1) 事業内容

小学校2年生以下のお子さんを同伴（妊娠中を含む）し、路線バスで市内を移動した場合に、親子などの運賃が無料になります。

(2) 開始時期

平成28年6月1日～

(3) 対象者

年度	対象者
平成28年度	・ 市内に住民登録がある <u>未就学児</u> のお子さん、同一世帯の保護者等
平成29年度	・ 市内に住民登録がある <u>小学校2年生以下</u> のお子さん、同一世帯の保護者等
平成30年度～	・ 市内に住民登録がある小学校2年生以下のお子さん、同一世帯の保護者等 ・ <u>妊娠中の方、同一世帯の配偶者等</u>

(4) 利用方法

事前に市へ申請し、チケットを受取る。

（1申請につき1セット10枚×5セットまで、申請は四半期に1回まで）

(5) 利用実績

（単位：人）

区分	平成28年度（6月～）	平成29年度	平成30年度
利用者数	25,985	39,247	37,126

(6) チケットサンプル（令和元年度版）

大垣市 親子お出かけバスチケット
（有効期間：2019年4月1日～2020年3月31日）
※バス停名と乗車人数を記入してください。

乗車バス停名 _____

降車バス停名 _____

大人（妊婦を含む）	妊婦	小学3～6年生	小学1～2年生	1歳～就学前	1歳未満
乗車人数	人	人	人	人	人
うち手帳所持	人	人	人	人	人

No.0000-0

<注意事項>

- ・ 小学2年生以下のお子さんと乗車した場合のみ、利用できます。
※ただし、妊婦の方はお子さんの同伴がなくても利用できます。
- ・ 市内で乗車し、かつ市内で降車した場合のみ、利用できます。
※市内→市外の場合、市外→市内の場合は、利用できません。
- ・ 乗り換えで一旦降車する場合も、本チケットが1枚必要です。
- ・ 降車時に、運転手に本チケット使用の旨を申し出てください。
- ・ 本チケットを第三者へ譲渡することは、固く禁止します。
※保護者等に身分証明証の提示を求める場合があります。

9 大垣市高齢者運転免許証自主返納支援事業の概要（担当：生活安全課）

(1) 趣 旨

高齢運転者による交通事故防止及び公共交通機関の利用促進を目的として、自主返納者に対する特典を設けることにより、免許証を返納しやすい環境づくりを進めます。

(2) 事業開始 平成30年5月15日（火）から受付開始

(3) 対 象 者

運転免許証を自主返納し、申請時に65歳以上で大垣市内に住民登録のある方

※申請期限は返納から1年間 ※1人1回のみ

※交通違反等で運転免許証の取り消しを受けた方、運転免許証の有効期限が切れて失効した方、運連免許証を取得していない方は対象外

(4) 支援内容 公共交通機関の回数券（5,000円程度）を贈呈する。

区分	特典内容 ※申請者は、いずれかの回数券を選択する。
鉄 道	養老鉄道㈱の回数券「マイレールチケット21」5,460円分（260円×21枚） 有効期間：発行日から6ヶ月後の月末日
バ ス	名阪近鉄バス㈱の普通セット回数券5,900円分（150, 100, 50, 10円券のセット） 有効期間：無し ※名阪近鉄バス㈱の免許返納割引（半額、同伴者も半額）のサービス有り
タクシー	タクシーの回数券5,000円分（500円×10枚） 有効期間：発行年度の翌年度末（本年度発行分は、2021年3月末） ※各タクシー会社の免許返納割引（1割引）のサービス有り

※岐阜県交通安全協会による運転経歴証明書の申請手数料（1,100円）の助成制度有り。

(5) 実 績 平成30年度（5月15日～3月31日） 511件

内訳 回数券区分：鉄道 14件、バス 142件、タクシー 355件

性別区分：男性 311件、女性 200件

年齢区分：65～74歳 84件、75～84歳 311件、85歳以上 116件

(6) 運転免許証自主返納件数（申請による運転免許の取消件数 ※全年齢）

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全 国	208,414人	285,514人	345,313人	423,800人	421,190人
岐阜県	2,129人	2,655人	3,520人	5,639人	5,764人
大垣市	—	—	261人	431人	544人

（資料：警察庁運転免許統計、岐阜県警察本部）

10 公共交通に関する計画の策定状況

(1) 養老線交通圏地域公共交通網形成計画

- ① 策定者 沿線市町
(大垣市、桑名市、海津市、養老町、神戸町、揖斐川町、池田町)
- ② 策定期間 平成29年10月24日
- ③ 計画期間 平成29年11月1日～平成39年3月31日
- ④ 記載事項
 - ・ 持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針
 - ・ 計画の区域
 - ・ 計画の目標
 - ・ 目標を達成するために行う事業・実施主体
 - ・ 計画の達成状況の評価に関する事項
 - ・ 計画期間
 - ・ その他計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

(2) 大垣市立地適正化計画

- ① 策定者 大垣市
- ② 策定期間 平成30年4月1日
- ③ 目標年次 平成52年
- ④ 記載事項
 - ・ 住宅及び都市機能誘導施設の立地の適正化に関する基本的な方針
 - ・ 住宅及び都市機能誘導施設の立地の適正化を図る区域
 - ・ 居住誘導区域に居住を誘導するための施策
 - ・ 都市機能誘導区域に誘導すべき医療、福祉、商業等の都市の居住者の福祉や利便のために必要な施設であって、都市機能の増進に著しく寄与するもの

大垣市地域公共交通網形成計画の策定について（案）

1 趣 旨

本市の公共交通につきましては、大垣駅においてＪＲに養老線や樽見線が結節する他、大垣駅を中心として幹線道路を通るバス路線が市内の各地域及び周辺市町へと放射状に延びており、主に通勤・通学を目的とした周辺市町から本市へ向かうための利用及び、大垣駅で乗り換えて岐阜や名古屋方面へ向かう利用が多くなっています。

近年は、人口減少や少子高齢化が進む中、利用者の維持や、運転に不安を持つ高齢者が安心して利用できる公共交通網の整備等の移動手段の確保が課題となっています。

さらに、交通事業者においては、燃料費や人件費のコスト増の他、運転手の確保も難しくなる等、経営環境は厳しさを増しています。

こうした中、現在では、地域住民の大切な移動手段として多くの路線を市の財政負担により維持していますが、その負担額は増加傾向となっています。

また、一部のバス路線においては需要と供給のミスマッチが生じていると思われるとともに、飛び地となっている上石津地域及び墨俣地域のように地域特性や関係する市町も異なるため、それぞれの地域に適した公共交通の検討が必要となっています。

なお、上石津地域においては、中山間地域であることや、隣接している養老町が地域公共交通網形成計画の策定作業を進めていることから、昨年度よりアンケート調査や利用実態調査、意見交換会を実施し、公共交通のあり方についての検討を進めています。

これらのことから、今後のまちづくりにも配慮しながら、地域特性や、利便性、利用者負担、費用対効果等を総合的に検討した上で、本市に適した公共交通のあり方や関係者の役割等を定める「大垣市地域公共交通網形成計画」を策定し、関係者が一体となって持続可能な公共交通の維持・活性化に取り組みます。

2 策定期間 令和元年度～令和2年度

3 計画期間 令和2年度～令和6年度（5年間）

4 策定方法等

これまでのバスに関する協議を目的とした「大垣市地域公共交通会議」の組織を拡充し、学識経験者、鉄道事業者やタクシー事業者、利用者、観光や福祉等の関係機関にも参画いただき、計画策定に関する協議を進めます。

なお、対応方針やアクションプログラム等の作成に当たっては、通勤・通学利用者の維持・確保を基本としつつ、観光客や高齢者等の一時利用者にも配慮した各種施策を検討します。

5 主な調査等

	項目	内容
移動 実 態 の 把 握	市民等ヒアリング調査	対 象：大垣駅、市民病院等のバスの乗降が多い箇所に訪れた方 調査内容：施設の利用頻度、目的、移動手段（選んだ理由） 等 ：公共交通の利用実態、満足度、ニーズ 等
	交通事業者ヒアリング調査	対 象：鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者 調査内容：経営の状況、利用者の声、課題、今後の取り組み 等
	企業アンケート調査	対 象：市内企業 調査内容：社員の通勤方法、公共交通の利用状況 等
ニ ー ズ の 把 握	アンケート調査	大垣地域、墨俣地域の住民 合計 5,400世帯程度 ※上石津地域は平成30年度にアンケート調査を実施済み
	地域懇談会	大垣地域 4回、上石津地域 1回、墨俣地域 1回 合計 6回程度
そ の 他	65歳以上の高齢者の移動実態及びニーズ	高齢者の移動の確保が課題となっている中、ヒアリング調査やアンケート調査等に65歳以上の方のみ回答する項目を設けることで、移動実態やニーズを把握
	情報発信等の可能性の検討	観光資源を活用したまちづくりを進める上で、外国人を含む市内への旅行者に対する情報発信等の可能性を検討

6 策定スケジュール

とき	内容	備考
令和元年 7月 8日（月）	<u>地域公共交通会議①</u>	公共交通の現状等について アンケート調査の実施について
7月～10月	利用実態の把握 等	アンケート調査、利用実態調査、 交通事業者ヒアリング 等
11月頃	<u>地域公共交通会議②</u>	アンケート調査等の結果について 計画（骨子）について
12月～ 令和 2年1月	地域懇談会	
令和 2年 2月頃	<u>地域公共交通会議③</u>	計画（素案）について
4月頃	パブリック・コメント	計画（素案）について
5月頃	<u>地域公共交通会議④</u>	計画（案）について
6月頃	計画の策定・公表	計画の国への提出

アンケート調査の実施について（案）

1 趣 旨

計画策定等にあたり、市内の公共交通（鉄道、バス、タクシー）の利用状況や、地域住民の公共交通に対するニーズ、高齢者の移動手段等の実態を把握する。

2 配布方法等

- (1) 対象世帯 5,400世帯（各小学校区300部程度） ※無作為による抽出
- (2) 実施時期
 - ① 配布日 令和元年7月下旬
 - ② 締 切 令和元年8月下旬
- (3) 配布・収集 郵送による配布、返信

3 調査項目

	項目	内容
全ての世帯用	回答者属性	居住地区、家族構成、最寄りのバス停 等 ※居住地区別に集計予定
	路線バスに対する考え	市の費用負担の是非
	意見・要望	自由記述（最終ページ）
特定の方用	65歳以上	移動手段
		買い物、通院、公共施設等、大垣駅に行く頻度、交通手段
		路線バス
		利用しない理由、利用可能性
		タクシー
		利用する理由、利用しない理由
		樽見線
		利用の有無、目的地
		回答者属性
		性別、年齢
		運転免許証自主返納
		免許証の保有状況、免許証の返納可能性
	通学者（高校生以上）の移動	性別、通学先、通学先までの交通手段、利用可能性 等
	通勤者の移動	性別、通勤先、通勤先までの交通手段、利用可能性 等

4 調査用紙 別添のとおり

※「全ての世帯用」、「特定の方用（通勤・通学・65歳以上）」の2部構成により、通勤・通学関係だけでなく、高齢者のニーズ等を把握します。